

取扱説明書

CATV BOOSTERS	
伝送周波数帯域	下り 70~770MHz 上り 10~ 55MHz
77RKB20B	
77RKB28B	
AC100V方式またはDC15V方式	

CATV加入者宅内の分配損失を補償する上り帯域パス回路付きのブースターです。

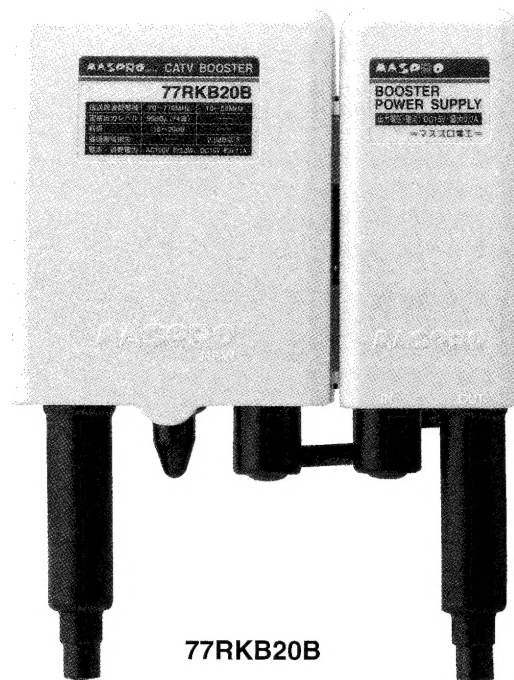
電源部連結型

20dB型

28dB型

増幅部

電源部



77RKB20B

優れた性能と機能

高出力

最新のCATV用高性能トランジスターを使用したマスプロ独自の増幅回路によって、74波のTV信号を95dB μ の高出力で伝送できます。

双方向・片方向切換機能付

上り切換スイッチで、上り信号のパス機能を切換えられますから、双方向・片方向どちらのシステムにも使用できます。

チルト調整付 (下り信号)

ケーブルの周波数特性によって発生する、信号のレベル差を補正できます。

電源部は取外し可能

AC100V方式のブースターとして使用する以外に、DC15V方式として、増幅部は屋外に、電源部は屋内に分離して取付けることができます。
(特許出願中)

優れた不要放射抑圧特性

増幅部および電源部の高周波回路をシールドしていますから、不要放射は50 μ V/m(34dB μ /m)以下になっています。
(有線テレビジョン放送法技術基準に準拠)

- ご使用の前に、この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
- お読みになったあとは、保存してください。

マルチメディアの

MASPRO

＝マスプロ電工＝

- 利得を調整するときは、調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎるとこわれることがあります。

増幅部

利得調整について

出荷時、利得調整はMIN.の位置にしています。

CATV下り

チルト切換 (6dB)

- 70MHzにおける出力レベルを6dB調整できます。
(770MHzの出力レベルは変わりません)
- 出荷時、0dBにしています。

利得調整

出力レベルが0～ \ominus 6dB以上(連続可変)の範囲で調整できます。

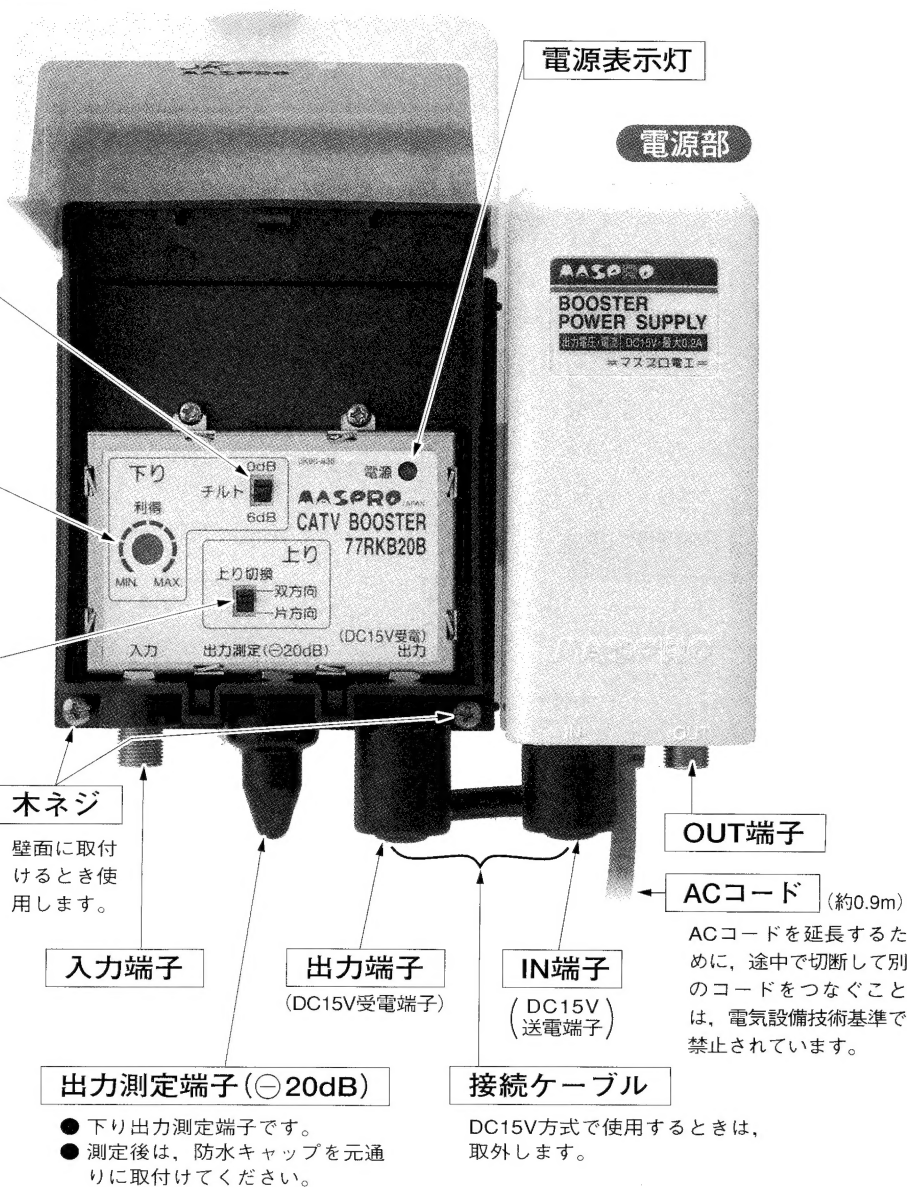
CATV上り

上り切換

- 使用するシステムに合わせて、「双方向」または「片方向」に切換えてください。
 - 出荷時は「片方向」にしています。
- 双方向**
双方向システムに使用するとき。
- 片方向**
片方向システムに使用するとき。

電源表示灯

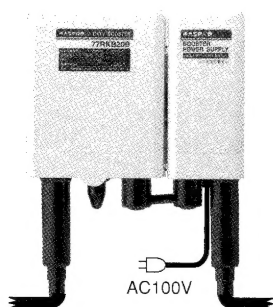
電源部



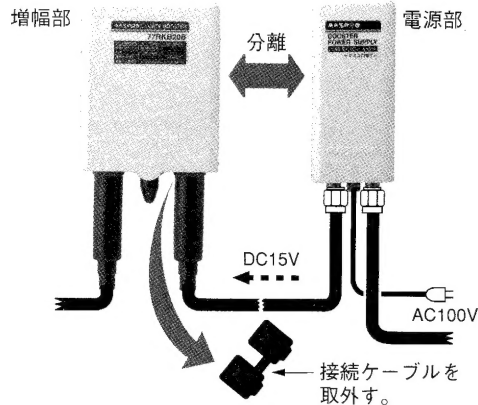
電源方式の変更

- 出荷時、AC100V方式で使用できるように、増幅部と電源部が接続ケーブルで連結しています。DC15V方式の場合、増幅部と電源部を分離して使用します。
- 詳しくは、p.3「電源部の分離方法」、p.4「使用例」をご覧ください。

AC100V方式



DC15V方式

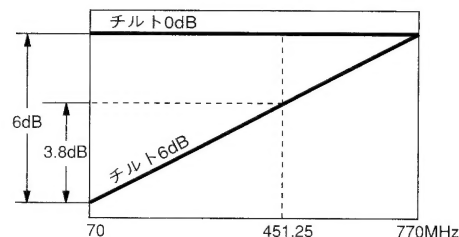


チルト切換について

- チルトの表示値は、770MHzを基準とした70MHzでのチルト量です。
- チルトを切換えても、770MHzの出力レベルは変わりません。

451.25MHzを基準としたチルト量

チルトの設定	451.25MHz基準のチルト量
6dB	3.8dB



取付方法



注意

AC100V方式で使用する場合、電源コードに雨水がかからない場所に取付けてください。

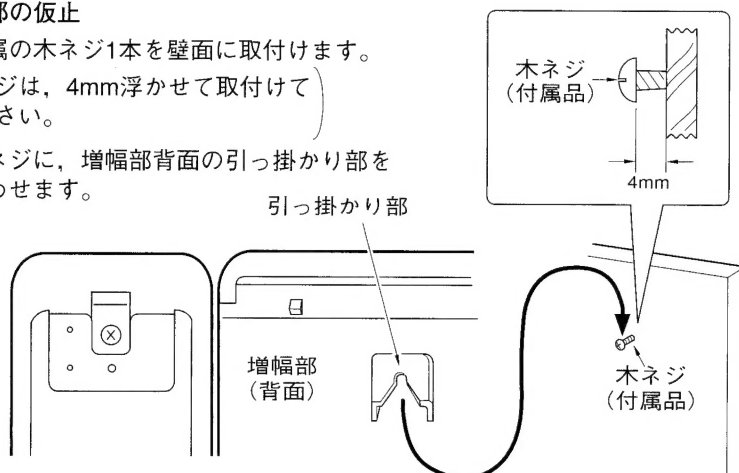
増幅部の取付方法

① 増幅部の仮止

- 付属の木ネジ1本を壁面に取付けます。

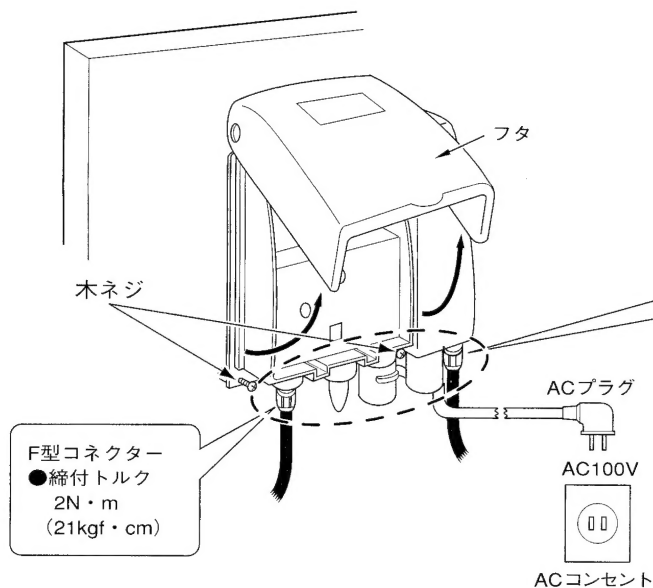
(木ネジは、4mm浮かせて取付けてください。)

- 木ネジに、増幅部背面の引っ掛かり部を合わせます。



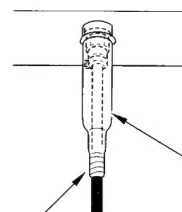
② 壁面取付

増幅部のフタを開け、増幅部に付いている木ネジ(2本)を締付けます。



防水キャップの取付けについて

屋外に設置する場合、入力端子・OUT端子に、必ず付属の防水キャップを取付けてください。



防水キャップ (付属品)

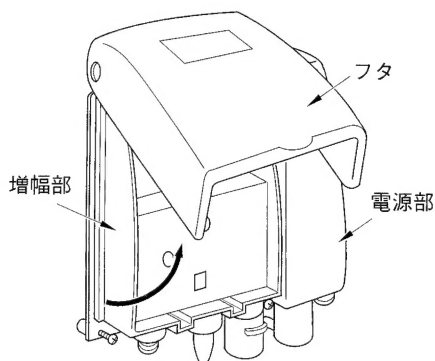
防水キャップが外れるのを防止するために、市販のビニルテープで止めてください。

電源部の分離方法

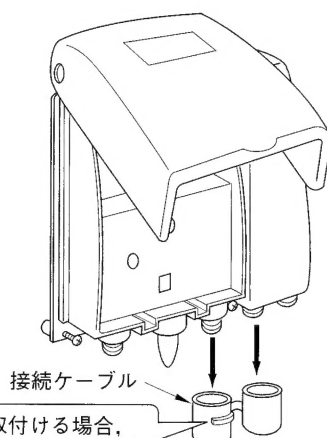
屋外でAC100V電源が使用できないとき、電源部を屋内に設置します。

① 分離の準備

増幅部のフタを開けます。



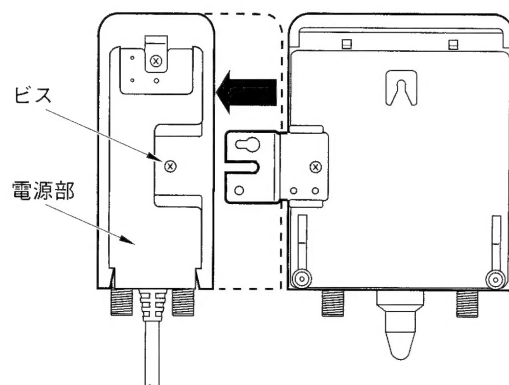
② 接続ケーブルの取外し



再度、取付ける場合、脱落防止用の突起部が手前になるようにしてください。

③ 分離

電源部の背面のビスをゆるめ、電源部を分離します。

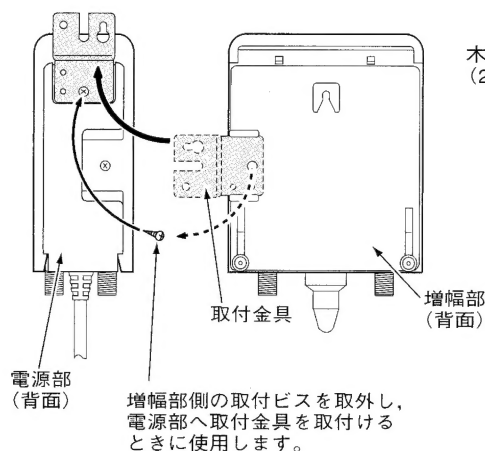


電源部の取付方法

電源部は、壁面に取付けます。

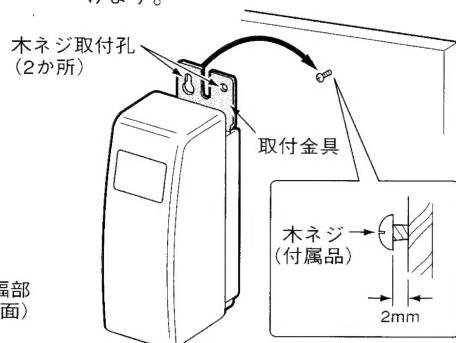
①取付金具の付換

増幅部と電源部を連結している取付金具を電源部に付換え、壁面取付用として使用します。



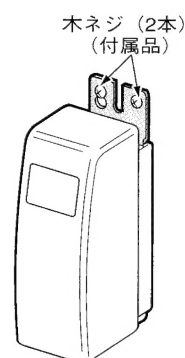
②電源部の仮止

- 付属の木ネジ1本を壁面に取付けます。
(木ネジは、2mm浮かせて取付けてください)
- 木ネジに、取付金具の○孔を引っ掛けます。



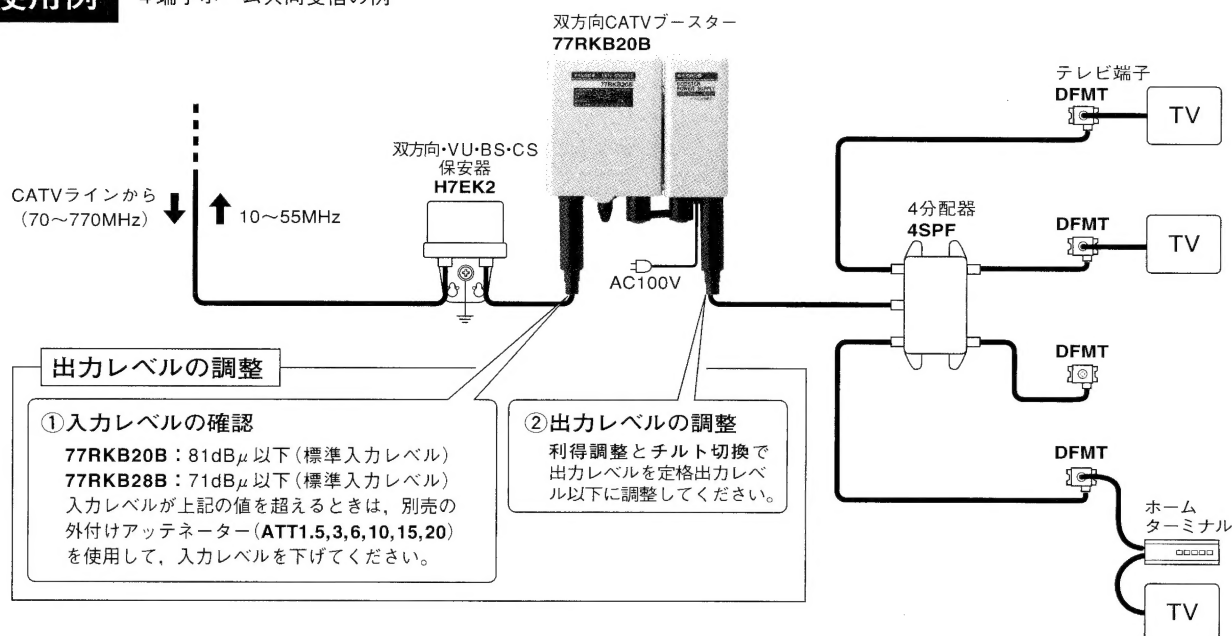
③壁面取付

付属の木ネジ(2本)で、しっかりと取付けてください。

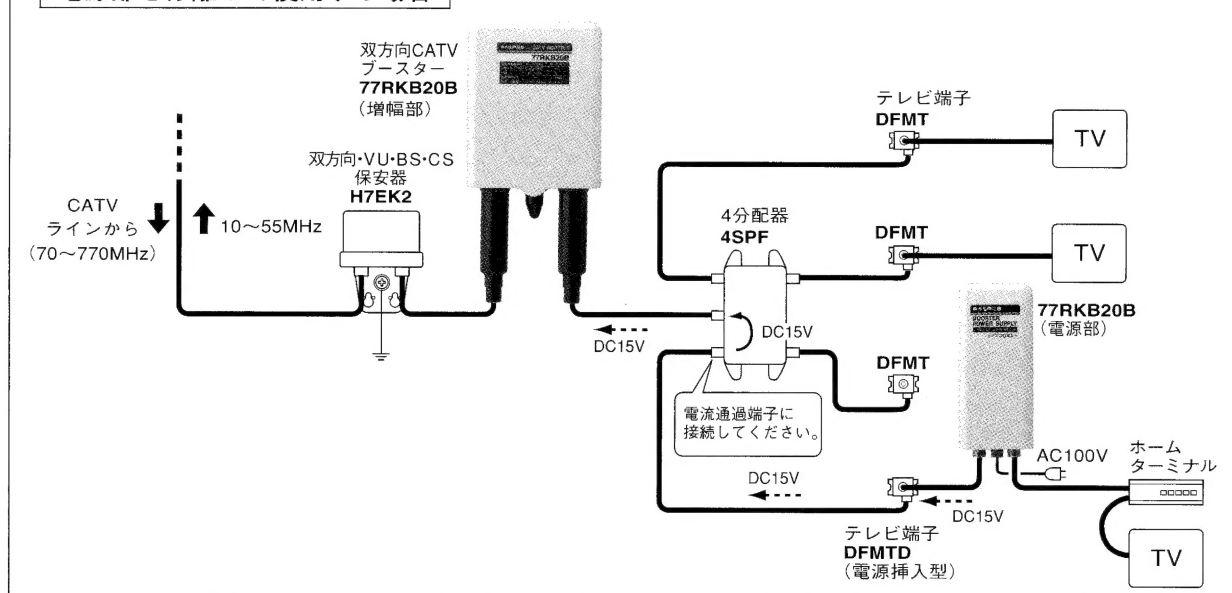


使用例

4端子ホーム共同受信の例



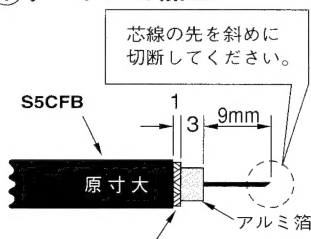
電源部を分離して使用する場合



F型コネクタ(FP5)の取付方法

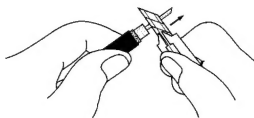
- F型コネクタは別売です。
- 接触不良やショートを防ぐため、プラグは正しいに取付けてください。

① ケーブルの加工



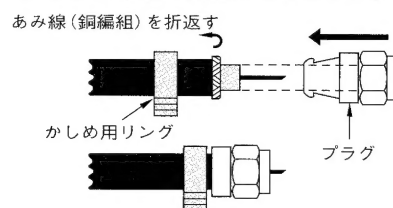
あみ線(銅編組)をニッパーまたはハサミで、1mm残して切ってください。

② 芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために、必ず取除いてください。

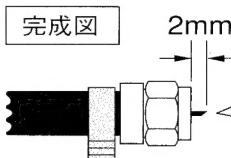
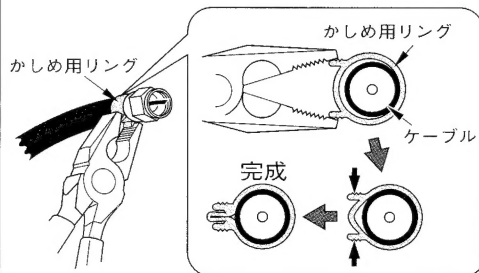


③ プラグの取付

1. かしめ用リングを、ケーブルに通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。



④ かしめ用リングをペンチで圧着 プラグが抜けないようにプラグの根元で、しっかりと圧着してください。



芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。
芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



正しく使用していただくために

- ① 画質が悪い ————— 出力レベルが正しく調整してありますか。
- ② 出力測定端子に信号が出ない ——— ● 入力信号がきていますか。
● 入力ケーブルのチェック
● 入力側コネクタとケーブルとの接続をチェック

● 電源のチェック
- ③ ケーブル ————— 断線またはショートしていませんか。F型コネクタを外して確かめてください。
- ④ 接続ケーブル ————— 増幅部・電源部間の接続ケーブルが外れたり、ゆるんだりしていませんか。
- ⑤ 電源表示灯(増幅部) ————— 点灯していますか。電源部に電源(AC100V)が供給されているか確認してください。
- ⑥ 出力電圧(電源部分離時) ————— 正常ですか。IN端子の電圧はDC14.3～15.7Vが正常です。

以上の方法でも、トラブルが解決できない場合、お近くの当社支店・営業所または本社技術相談までお問合わせください。

規格表 Specifications

増幅部

MASPRO

電源部

MASPRO

項目 Items	規格		
	CATV下り		CATV上り
伝送周波数帯域 Frequency Range	70~770MHz		10~55MHz
伝送波数 Number of Transmission Signals	74波	57波	32波
定格出力レベル Rated Output Level	95dBμ ※1	97dBμ ※1	99dBμ ※1
利得 Gain	77RKB20B : 16~20dB, 77RKB28B : 26~30dB		——
通過帯域損失 Insertion Loss	——		2.5dB以下
出力レベル調整範囲 Output Level Control Range	利得 Gain	0~⊖6dB以上 (連続可変)	
	チルト Tilt	6dB/70MHz ※2	
周波数特性 Response Flatness	3dB以内		——
利得安定度 Temperature Stability of Gain	±1dB以内		——
雑音指数 Noise Figure	10dB以下		——
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω (F型コネクタ)		
VSWR	2 以下		
2次相互変調 2nd Order Intermodulation	⊖ 60dB以下		——
CTB Composite Triple Beat	⊖ 60dB以下		——
CSO Composite Second Order Beat	⊖ 60dB以下		——
混変調 Cross Modulation	⊖ 56dB以下		——
ハム変調 Hum Modulation	⊖ 60dB以下		——
不要放射 Radiation	34dBμ/m 以下		
耐電性 Surge Protection Voltage	15kV (1.2/50μs) のサージ電圧に耐えること		
出力測定端子結合量 Tap Value of Output Test Point	⊖ 20dB (F型コネクタ)		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖ 20~⊕40℃		
電源 Power Requirements	DC15V 約0.11A		
外観寸法 Dimensions	137(H)×93(W)×49(D)mm [電源部連結時 137(H)×145(W)×49(D)mm]		
質量 (重量) Weight	約210g [電源部連結時 約470g]		
シンボル Symbol			

※1 デジタル信号は⊖10dB運用。

※2 770MHzを基点とした70MHzでのチルト量です。

項目 Items	規格
伝送周波数帯域 Frequency Range	10~770MHz
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	約2.3W
出力電圧・電流 Output Voltage/Current	DC15V 約0.11A
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω (F型コネクタ)
挿入損失 Insertion Loss	1dB以下
VSWR	2 以下
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20~⊕40℃
外観寸法 Dimensions	121(H)×52(W)×49(D)mm (壁面取付時 132(H)×52(W)×49(D)mm)
質量 (重量) Weight	約240g (取付金具含む)

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

意匠登録 第1101997号

付属品

防水キャップ 2個
木ネジ 3本

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。



本社〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802-2244
工事営業部 (052)802-2225
技術相談 (052)805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖繩 (098) 854-2768 熊本 (096) 381-7626
鹿児島 (099) 812-1200 長崎 (095) 864-6001
宮崎 (0985) 25-3877 福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026

下関 (0832) 55-1130 津 (059) 234-0261
徳山 (0834) 32-2954 岐阜 (058) 275-0805
広島 (082) 230-2351 名古屋(支) (052) 802-2233
松江 (0852) 21-5341 工事営業部 (052) 804-6262
岡山 (086) 252-5800 豊橋 (0532) 33-1500
松山 (089) 973-5656 静岡 (054) 283-2220
高知 (088) 882-0991 松本 (0263) 57-4625
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200 福井 (0776) 23-8153
大阪(支) (06) 6635-2222 金沢 (076) 249-5301
工事営業部 (06) 6632-1144 新潟 (025) 287-3155
京都 (075) 646-3800

横浜 (045) 784-1422 郡山 (024) 952-0095
渋谷(支) (03) 3409-5505 仙台 (022) 786-5060
工事営業部 (03) 3499-5631 盛岡 (019) 641-1681
秋葉原 (03) 3255-7335 秋田 (018) 862-7523
青戸 (03) 3695-1811 青森 (017) 742-4227
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335 函館 (0138) 53-7355
さいたま (048) 663-8000 札幌 (011) 782-0711
前橋 (027) 263-3767 釧路 (0154) 23-8466
水戸 (029) 248-3870 旭川 (0166) 25-3111
宇都宮 (028) 660-5008 北見 (0157) 61-0480

JAN., 2003